

徳島大学大学院創成科学研究科臨床心理学専攻学位論文審査基準

令和2年1月20日

大学院創成科学研究科地域創成専攻・臨床心理学専攻設置準備委員会承認

修士の学位論文は、次に掲げる点を総合的に考慮し、かつ、審査対象者が、専攻分野にかかる高度な研究能力及びその基礎となる豊かな学識、倫理観を有していると認められる場合に合格とする。

1 研究テーマ及び問題設定の妥当性

研究テーマ及び問題設定に学術的・社会的意義があると認められること。

2 研究方法の妥当性

研究テーマについて、適切に先行研究と関連づけつつ、問題設定にふさわしい研究方法を実践していること。

3 論文構成・論述の妥当性

論文の構成、論述が明確かつ適切で、結論に至る論理展開に一貫性が認められること。

4 研究の独創性

研究テーマ及び問題設定、分析方法、結論等に独創性が認められること。

5 学会又は社会等への貢献

研究成果について、当該研究領域の発展に貢献する学術的価値が認められる、又は社会への貢献が期待されること。